

# 平成30年度（第10回）大学間連携SD研修会

テーマ「大学改革の時代を突破する職員になる」

## 実施要項

日時 / 平成30年9月7日（金） 9：30－18：00（18：15－情報交換会）

### プログラム

9：00－ 受付開始  
9：30－10：20 開会・オリエンテーション・アイスブレイキング  
10：30－12：00 プログラム1（グループワーク及びミニレクチャー）  
12：00－13：00 昼食休憩  
13：00－14：30 プログラム2（グループワーク）  
14：40－16：10 プログラム3（グループワーク）  
16：20－18：00 プログラム4（発表会）  
18：15－ 情報交換会

場所 / 山形大学小白川キャンパス 基盤教育1号館（山形市小白川町一丁目4-12）

講師 / 小田 隆治（山形大学教育開発連携支援センター・教授）

対象者 / 全国の大学・短期大学・高等専門学校等の事務職員  
（職務・年齢・性別等不問、定員はありません。一機関から何名でもご参加いただけます。）

参加費 / 無料（情報交換会：会費4,000円）

申込方法 / 別添申込票に必要事項をご記入の上、下記連絡先へメールまたはFAXにて、お申し込みください。

申込〆切：平成30年8月24日（金）

※参加者には追って詳細をご連絡いたします。

申込・連絡先 / 山形大学小白川キャンパス事務部教務課教育企画担当  
E-Mail k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp  
TEL/FAX 023-628-4720

【開催趣旨：裏面へ】

# 平成 30 年度（第 10 回）大学間連携 SD 研修会

## テーマ「大学改革の時代を突破する職員になる」

### 開催趣旨

本研修会は、相互研鑽の理念の下、全国の大学・短大・高専等の事務職員が一堂に会し、ワークショップ形式によって、意欲、使命感、企画力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、そしてリーダーシップが向上することを目的としています。これまでの参加者によって「あっとおどろく大学事務 NG 集」や「コントすてきな大学事務名場面集」のビデオ教材を制作し、これらは全国の大学の SD に活用されてきました。

現在の日本の大学を取り巻く環境は、非常に厳しい状況にあります。中でも、18 歳人口の減少に伴う定員割れは大学の存亡に関わっています。しばらく小康状態を保っていた 18 歳人口は、2018 年頃から再び減少し、多くの大学が大量の定員割れを起こすとされる、いわゆる「2018 年問題」に突入しました。教職員に熱意があつて、魅力的な教育を提供する体制が整っていたとしても、教室に学生がいなければ、いかんともしがたいのです。どんなに素晴らしい大学であっても、学生確保ができない大学は潰れることになるでしょう。自分の大学が潰れたならば、学生をもちろんのこと我々教職員が路頭に迷ってしまいます。自学の閉校によって、地域や日本、世界に不利益が生じるとするならば、何としても入学生を確保して、自分の大学を存続し発展させなければなりません。

「言うは易く行うは難し」、であることはわかっています。18 歳人口の減少とは、すなわち受験生マーケットの縮小であり、大学の数が減少していくことは必定です。それぞれの大学は、生き残りをかけた競争に勝ち抜くか、受験生のマーケットを社会人や海外に拡大していくしかないのです。こうしたことは大学経営の戦略に関わっており、一職員がどれだけ深くそれに関与できるかはわかりません。ですが、眼前の仕事だけではなく、大学人として視野を広げ、歴史的に物事を見ていく必要があります。

AI やロボットの急速な進歩は、社会を急速に変化させ、人間とは何かを問い詰めることでしょう。こうした科学技術の進歩によっても、未来は予測困難な時代に突入しているのです。どの大学も現在の姿で生き残っていくことはないでしょう。時代に合わせた、いえ、時代を先導する改革が求められているのです。

「大学改革の時代を突破する職員になる」。今回のタイトルは、いつにも増して大きく出たものです。「そんなのなれるわけじゃないじゃない」そうです。そのとおりです。なれるわけがありません。誰でもがなれたならば苦労はないのです。誰でもがなれるとしたならば、突破者としての価値はどこにもありません。この研修会を受講したならばどうでしょうか。残念ながら、受講した全員が突破者になれるわけがありません。もしかしたら誰もなれないかもしれません。突破者の資質は、論理や経験だけでなく、アートの力も必要だと言われています。このアート、感性の力は論理的に伝達しがたいのです。

そもそも我々は何を突破しなければならないのでしょうか？ はたまた、我々は何を突破しようとしているのでしょうか？ 突破しようとしているものは、人それぞれで違っているのかもしれませんが、大学によっても違いはあるのかもしれませんが。我々一人ひとりに問われていることは、夢も希望もないようなこの現状認識から始めなければなりません。だが、この問いの泥沼にはまったままでは、突破できないのです。

時代の突破者と言えば、孤独な革命家を想像されるかもしれませんが、そうした人が成功するのも、その人を理解し支援する一群の人たちがいるからです。そうした理解者がいない限り、大望（ビジョン）は果たすことはできません。時代は理解者や支援者を必要としています。

日本全国の大学の職員の方々と一緒に、大学改革についてざっくばらんに情報交換し、バーチャルな大学を想定して、改革の新たな企画を立ててみませんか。もしかするとこのバーチャルな企画があなたの大学の改革のための具体的な方策に結びつくかもしれません。

本研修会はグループ活動を中心に進んでいきます。これまでたくさんの引込み思案の方が参加し、大きな収穫を得て帰られました。この夏、自分の殻を少し破ってみませんか。堅苦しくなく、楽しいですよ。この研修会に参加したみなさんが、突破者になることは保証できかねますが、明日から少し意欲的に仕事に取り組まれるようになることだけは確証できます。

多くの方々のご参加をお待ちしております。

【実施要項：裏面へ】